

日本三大美林の一つである天然秋田杉<sup>※</sup>は、年輪幅が揃い、木目が細かく強度に優れ、狂いが少ないことから、古くから高級内装材、天井板などの住宅用建築材として利用されてきました。

現在、国有林では天然秋田杉の供給は行っていませんが、秋田県では、地元のスギを使っていこうという民間の新しい取組や、国有林における天然秋田杉に代わる高品質なスギ人工林の施業が進められています。

林野庁公式Youtubeチャンネルでは、秋田スギでの木桶の製造を目指す老舗の酒蔵<sup>あらまさ</sup>「新政酒造」と、樹齢100年を超える高齢級人工林における秋田スギの計画的な供給を目指す国有林の取組を取材しました。今回は、動画でお伝えしきれなかった部分を交え、ご紹介していきます。

※天然秋田杉:青森県から鹿児島屋久島まで広く分布している天然杉のうち、秋田県の北部を流れる米代川流域に分布する杉。本記事では天然秋田杉と区別して、人工林から生産される秋田県産のスギを秋田スギと表記する。

## 昔ながらの製法で地域に根差した酒造りを

新政酒造株式会社 代表取締役 佐藤 祐輔



撮影 船橋陽馬(根子写真館)

新政酒造では、約90年前にこの蔵で発見された「6号酵母」を使って、すべてのお酒を造っています。この酵母は、現在酒造りに使われている日本最古の酵母ですが、調べていくと、酵母が発見された当初、木桶を使った古い製法で酒造りをしていたことがわかりました。酵母の生まれた時の環境に近い酒造りをしたほうが酵母の特性を引き出せるのではないかと、木桶に興味を持ったのが始まりです。



田園の広がる鶴養地区の風景

しかし、日本における木桶生産業は、木桶職人の高齢化・減少により非常に厳しい状況にあります。そこで、自ら木桶を製造するため、社員を対象に木桶職人の育成にも取り組み始めました。将来的には、地元の秋田スギを使い、自社で木桶を製造したいと思っています。

自社圃場<sup>ほじょう</sup>のある鶴養<sup>うやしな</sup>地区では、自社での酒米生産のほか、地元の農家と契約して酒米を生産し、小さな山村に雇用を創出しています。また、無農薬、無肥料の昔ながらのやり方にこだわっています。将来的には、外から農薬や肥料を持ち込まず、地域の木と水と米を使った酒造りをするのが目標です。

## 秋田スギを使った木桶づくりを目指して

新政酒造株式会社 木桶職人 相馬 佳暁



撮影 堀 清英

木桶職人になる前は、設計の仕事をしていました。現在は醸造工程を勉強しながら、秋田スギを使った蔵の足場や麹室こうじむろの設計などを行っています。自社で木桶造りに取り組んでいる中で、前職から一番木材に理解のある者として木桶に関わっています。

木桶は、鋸と鉋と木槌の3つの道具だけで作ることができますが、木桶の側の部分を作るのに必要な板はだいたい40枚ほどで、これは

4mの丸太から多くて8枚程度しかとることができません。木桶に使うスギの樹齢は120年くらいがベストですので、そのような高齢級のスギが何本も必要になってきます。

今、蔵で使用している木桶も、樹齢120年ほどの吉野杉からできています。寒冷地の秋田スギは吉野杉と比べ目が詰まっているため、もしかしたら樹齢100年ほどのものでも木桶に使えるかもしれません。秋田スギを使った木桶は戦前以来となるので、ぜひ挑戦したいと思っています。



現在使われている木桶と木桶蔵  
撮影 堀 清英

## 天然秋田杉に代わる高齢級スギ人工林の施業について

秋田森林管理署長 尾前 幸太郎



秋田森林管理署管内は、秋田スギの一大産地となっています。管内のスギ人工林面積のうち、36年生から55年生の森林が約60%を占めており、その一部で今は供給をしていない天然秋田杉の代替材として、高齢級・高品質なスギ人工林の施業を進めています。

BUZZMAFFの中で紹介させていただいたスギ人工林は、明治39年に植栽されたもので、樹齢115年生になります。材質的にも幹が引き締まり目の詰まったものとなっており、天然秋田杉にも引けを取らない高品質な材になっています。このような高品質なスギは、構造の内部に使われる建築材というよりも、人の手に触れ、目にしていただけるようなところへの利用を進めたいと思っています。

あと30年ほどで伐採の時期を迎えますが、高齢級・高品質の秋田スギを需要に応じて安定的に供給できるよう、小規模伐採などの方法を検討しているところです。



高齢級秋田スギ人工林

BUZZMAFF林野庁公式Youtubeチャンネルでは、今回の取組に加え、秋田スギを構内の内装に使用しているJR秋田駅の様子を動画でご紹介しています。

秋田スギをふんだんに使用した新政酒造の酒蔵の内部や、樹齢115年の人工林秋田スギと天然秋田杉の迫力のある映像、そして今回インタビューに応じていただいた方々の秋田スギに寄せる熱い思いをぜひ動画でもご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=aUOUONwBGcw>

